

### 江戸後期，幕府直轄領の地域的分布について

村上，直 / MURAKAMI, Tadashi

---

(出版者 / Publisher)

法政大学史学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政史学 / 法政史学

(巻 / Volume)

34

(開始ページ / Start Page)

60

(終了ページ / End Page)

74

(発行年 / Year)

1982-03-23

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00011685>

## 江戸後期、幕府直轄領の地域的分布について

## 村上直

## はじめに

江戸幕府直轄領は、関東・東海・近畿を中心にはほ全国的に分布し、徳川一門・譜代大名領・旗本領と共に政治・軍事上の重要地域を占めていた。しかも幕府の財政基盤が基本的にはこの直轄領からの年貢・諸役にあつたことから、その拡充は幕府財政の動向と密接な関係におかれていたといつてよい。

全国における幕府直轄領の総石高は、享保元年（一七一六）以降天保十二年（一八四一）に至るまで、年貢収納量とともに明らかにされているが、これによると延享元年（一七四四）四六三万四〇七六石を最高額として、以後漸減の傾向をたどり天保十一年（一七九九）には四一六万六四七五石の最低額を示すに至っている。<sup>1)</sup> 私は先きに江戸幕府直轄領の地域的分布について考察を行ったが、<sup>2)</sup> 本稿においては江戸後期、すなわち幕藩制社会の解体過程における宝暦七年、天保九年、文久三年の三つの時期における直轄領の実態を明らかにしていきたいと思う。

## 一、宝暦期の地域的分布

宝暦期における幕府直轄領の総石高および年貢高の各年別の変化については、『癸卯雜記』四所収の「御取箇辻書付」<sup>3)</sup> によって明らかにすることができる。それによると宝暦元年（一七五一）年四三九万四五二五石であるのにたいし、翌二年より四四〇万台となり、同七年には四四二万〇五〇三石、同九年には四四七万一七一二石と漸増の傾向をみせるが、一一年以後は減少し、一三年には四三七万五八三六石となっている。この間において宝暦七年（一七五七）の幕府直轄領の地域分布の状況については『江戸叢書』卷十一所収「丁未雜記」の「御料高御代官并御預所高書付」<sup>4)</sup> によって第1表・第4表のように明らかにすることができる。この時期の郡代・代官数は五八人に及び、注目すべきは佐渡に代官制が施されていることである。また、関東において下総国佐倉藩主堀田相模守の所領に大名預所一二、七〇〇石余と他に浦賀奉行付七〇〇石もが設置されていることに注目したい。さらに当分預り所が二四万三四〇〇石に及んでいる。なお、直轄領総額は、この「御料高御代官并御預所高書付」記載の総額と相違するが、その理由は不明である。

## 二、天保期の地域的分布

天保期における幕府直轄領の総石高および年貢高は、天保元年（一八三〇）が四一八万二六九一石であるが、翌二年から四二〇万二一〇一石と若干増加し、以後四二〇万台となっているが、同一〇年からは四一六万台と再び減少している。この間において天保九年（一八三八）の幕府直轄領の地域的分布の状況については『吹塵録』下、徳川氏之部一所取「天保九戌年御代官并御預所御物成納払御勘定帳」<sup>(5)</sup>によって第2表・第5表のように明らかにすることができる。この段階では総石高において減少がみられる。遠国奉行は関東筋が浦賀奉行付、畿内筋は伏見奉行付、北国筋は佐渡奉行付である。なお、関東筋の大名預所は消滅しており、一般的にみて代官支配地は大幅に減少し、大名預所が増加しているのが特徴的である。また直轄領総額においては海道筋・奥羽筋・中国筋・西国筋が若干増加し、他は減少している。

## 三、文久期の地域的分布

文久三年（一八六三）における地域的分布については、竹越与三郎著『日本経済史』三巻所収の「文久三亥年御代官并御預所御物成納払御勘定帳」<sup>(6)</sup>によって第3表・第6表のように明らかにすることができる。この時期の直轄領総額はさらに減少しており、幕末期の直轄領はすでに四〇〇万石前後に落ち込んでいたことがわかれる。なお、この史料の郡代・代官数は三八名である。

## おわりに

江戸後期幕府直轄領の地域的分布について（村上）

以上、江戸後期、つまり幕藩制社会の解体過程において、とくに幕府直轄領の基本史料が残っている三時期について考察を行った。これによって、全体としては直轄領の総石高は減少の傾向がみられるが、そのなかでなお特徴的に捉えることができるのは代官支配地の減少にたいして、大名預所の増加の現象であろう。この状況は各年度の史料が出揃いキメ細かに検討することができるならば、必ずしも直線的なものではないが、直轄領の全般的傾向と理解してよいと思う。ここでなお注目すべきは北国筋・奥羽筋に大名預所が増加していることである。とくに北国筋は佐渡奉行の一国天領があり、これを合わせると代官支配地の総額を上廻っている。

江戸幕府直轄領の存在は、単なる経済的基盤をなすだけでなく、政治・軍事上の面からも重要な位置を占めている。したがって幕末になるにしたがい諸藩の経世家のなかには、天領の支配にたいする批判も高まっていた。豊後国日出藩の家老帆足万里は弘化元年（一八四四）に『東潜夫論』三巻を著わしている。このなかで直轄領が、犬牙錯綜しているため禁令が行届かず、まとまりがなくなっている。そのためには関東八か国と駿河・遠江・甲斐・信濃の四か国を直轄領に組み入れ、また、百万石ばかりを大坂城につけ、諸国に散在する直轄領や海岸地帯はすべて大名領に組み入れるべきであると提案している。いうまでもなく、この案は実現されなかったが、幕府直轄領の分散性を集中化させようとする考えである。この段階ですでに幕府直轄領の存在意義が大きく変ってきたことを知ることができるのである。

なお、表の数字は総石高において第2表の四一九万二〇四一石三〇三は第5表で四一九万二〇四二石。第3表の四〇七万五七四二石一〇八は第6表で四〇七万五七四三石と各行以下を切り上げた。

## 注

- (1)・(3) 向山源太夫(誠齋)「癸卯雜記」四。「御取箇辻書付」(『江戸叢書』卷八所収。国立国会図書館・東大史料編纂所所蔵)。  
 (2) 村上直「江戸幕府直轄領の地域的分布について」『法政史学』第二十五号。  
 (4) なお本史料については東京大学史料編纂所蔵本「向山黄献本」と校合、誤植を訂正した。  
 (5) 『海舟全集』第四卷、一〇五一—一七頁。  
 (6) 竹越与三郎『日本経済史』三卷、四八五—五一九頁。  
 (7) 『日本経済叢書』二六、『帆足万里全集』上、所収。

第1表 宝暦7年 江戸幕府直轄領の地域的分布

## (A) 郡代・代官支配地

	郡代・代官	支配地	支配高
			万石
関	伊奈半左衛門忠宥	武蔵・上野	27 3100
	辻源五郎盛陰	武蔵	9 3000
	横尾六右衛門昭平	上野・下野	6 7600
	吉田久左衛門佳国	下野・下総・常陸	6 2200
	江川太郎左衛門英征	[陸奥]・下野	5 6300
東	小田切新五郎光禄	上総・下総	5 3300
	会田伊右衛門資敏	武蔵・上野	5 3100
筋	前沢藤十郎光寛	常陸・下総	5 4800
	高階伝次郎経道	武蔵・下総・常陸	5 2600
	吉田源之助春達	安房・下総・上総・常陸	5 4200
	志村新左衛門師智	武蔵・相模	5 2100

江戸後期幕府直轄領の地域的分布について(村上)

東 筋	久保田十左衛門政邦	下野・常陸	4 9300
	岩松直右衛門純睦	武蔵	4 8900
	万年七郎左衛門頼英	武蔵	5 3700
	青山市左衛門政陽	武蔵	3 9300
	[当分預り所]		
	※横尾六右衛門昭平	上野	7 0200
	※吉田久左衛門佳国	下総	4800
	※吉田久左衛門佳国	下総	1 0300
	※前沢藤十郎光寛	常陸・下総	600
	計		<b>114 9400</b>
畿 内 筋	小堀数馬邦直	山城・河内・摂津	9 0900 <sup>石</sup>
	石原清左衛門正頼	河内・近江・摂津・丹波	8 9400
	萩原藤七郎友明	摂津・河内・和泉	7 2900
	内藤十右衛門忠尚	摂津・河内・和泉	6 2600
	飯塚伊兵衛英長	播磨・[美作]	5 3800
	角倉与市玄寿	河内・和泉	2 6800
	[当分預り所]		
	※小堀数馬邦直	山城・摂津・丹波	8400
	※斎藤新八郎正成	播磨	4800
	※飯塚伊兵衛英長	播磨	4700
計		<b>41 4300<sup>石</sup></b>	
海 道 筋	青木次郎九郎安清	美濃	7 6800
	多羅尾四郎右衛門光雄	[近江]・伊勢・美濃	5 2100
	宮村孫右衛門高豊	駿河	6 9000
	山本平八郎親行	伊豆・甲斐・[相模]	6 1400
	上倉彦左衛門信門	飛騨・美濃	5 6200
筋	鶺鴒左十郎実道	甲斐	6 3500

海 道 筋	岩出伊右衛門信之	駿河・遠江・三河	5 8800
	岩佐郷藏茂矩	甲斐	5 2200
	町野惣右衛門寛満	甲斐	5 3500
	今井平三郎載肥	甲斐	5 3900
	川崎平右衛門定孝	美濃	5 4500
	[当分預り所]		
	※青木次郎九郎安清	美濃	1 2800
	※山本平八郎親行	伊豆	100
※岩出伊右衛門信之	三河・遠江	5 0500	
	計		万 石 71 5300
北 国 筋	天野助次郎正景	信濃	8 0700
	藤沼源左衛門時房	佐渡	6 6300
	池田喜八郎季庸	佐渡	6 5400
	千種清右衛門直豊	越後	6 8300
	渡辺民部	越後・信濃	7 0600
	佐々新十郎長純	越前	5 3300
	稲垣藤左衛門豊章	越前	5 3600
	布施弥市郎胤将	信濃	4 8600
	山中源四郎久忠	越後	4 7600
	真野惣十郎勝照	越後	4 6700
	久保平三郎勝峯	越後	5 0100
	竹垣庄藏直照	越前	5 3300
	[当分預り所]		
	※千種清右衛門直豊	越後	1 4200
※佐々新十郎長純	越前	4700	
※稲垣藤左衛門豊章	越前	2700	
※布施弥市郎胤将	信濃	5100	
※竹垣庄藏直照	越前	3200	

江戸後期幕府直轄領の地域分布について(村上)

			万石 <b>73 4400</b>
奥羽筋	小林孫四郎政用	陸奥	6 2800
	川田六左衛門貞英	出羽	6 4600
	辻六郎左衛門富守	出羽	5 3700
	平岡彦兵衛良寛	出羽	5 0500
	風祭甚三郎国辰	陸奥・出羽	5 0400
	天野市十郎正純	〔越後〕・出羽	5 0900
	渡辺半十郎	陸奥	4 7100
	計		万石 <b>38 0000</b>
中国筋	遠藤兵右衛門良致	石見・備後	5 2800
	大野佐左衛門正識	丹後	5 2500
	内方鉄五郎当高	備中・美作	5 4500
	藤本甚助久英	美作	5 4600
	浅井作右衛門道尹	備中・讃岐	3 9600
	斎藤新八郎正成	但馬・〔播磨〕	6 4700
	〔当分預り所〕		
	※遠藤兵右衛門良致	備後	1 4100
	※内方鉄五郎当高	美作	1 4600
	※藤本甚助久英	美作	4900
※浅井作右衛門道尹	備中	1 2700	
	計		万石 <b>36 5000</b>
西国筋	岡田九郎左衛門俊博	豊後・日向・豊前・筑前	13 7600
	計		万石 <b>13 7600</b>

※は再出の代官

## (B) 遠国奉行

(伏見奉行)	山城	5000
(浦賀奉行)	相模	700
(長崎奉行) 高木作右衛門	肥前	3400
計		9100 <small>石</small>

## (C) 大名預所

(佐倉藩主) 堀田相模守	下総	1 2700 <small>万石</small>
(加賀藩主) 松平加賀守	能登	1 4200
(会津藩主) 松平肥後守	陸奥	5 2500
(津藩主) 藤堂和泉守	大和	11 3100
[同預り] 藤堂和泉守	大和	1000
(松江藩主) 松平出羽守	隠岐	1 2200
(米沢藩主) 上杉大炊頭	出羽・〔越後〕	5 1000
(松山藩主) 松平隠岐守	伊予	1 1100
(大垣藩主) 戸田采女正	美濃	2 7800
(島原藩主) 戸田因幡守	肥後・肥前	2 4400
(長岡藩主) 牧野駿河守	越後	6 4200
(松本藩主) 松平丹波守	信濃	4 0300
(人吉藩主) 相良志摩守	日向	4000
(赤穂藩主) 森対馬守	播磨・美作	4 7700
(柳本藩主) 織田丹後守	大和・摂津	9 1400
(山家藩主) 谷田羽守	丹波	2600
(交代寄合) 近藤縫殿介	遠江	1300
(尾張家臣) 千村平右衛門	信濃	5000
(尾張家臣) 毛利源内	美濃	1300
計		57 7800 <small>万石</small>
総 石 高		448 2900 <small>万石</small>

第2表 天保9年 江戸幕府直轄領の地域的分布

## (A) 郡代・代官支配地

	郡代・代官	支配地	支配高 万 石
関東 筋	森 覚藏貫之	安房・上総・下総	8 7544 8.0.8
	中村八太夫利剛	武蔵・相模	13 4923 8.1.8
	山田茂左衛門至意	武蔵・下総	11 5447 3.2.3
	伊奈半左衛門忠信	武蔵	10 5007 2.8.9
	山本大膳雅直	武蔵・上野・下野	13 4991 3.1.7
	川崎平右衛門定安	下総・上野・常陸・下野	9 4633 6.9.5
	伊奈友之助忠高	下総・下野・常陸	8 8530 7.4.6
	羽倉外記用九	下総・上野・下野	8 5763 0.9.3
	林 金五郎	常陸・下総	8 5172 0.4.2
			<b>93 2014 1.3.1</b>
畿内 筋	小堀主税正芳	山城・和泉・丹波・河内・ 摂津・播磨	9 6469 9.3.1
	石原清左衛門	大和・摂津・播磨・河内・ 和泉・近江	10 1883 9.8.1
	池田岩之丞季秀	摂津・河内・播磨	7 9417 2.9.0
	築山茂左衛門	摂津・河内・播磨	7 2607 5.7.1
	竹垣三右衛門直道	大和	6 1732 3.3.1
	木村惣左衛門	大和・河内	3 0807 1.3.1
	上林六郎久忠	山城・河内	2 0531 9.2.0
	角倉鍋次郎	山城	246 1.5.1
			<b>46 3696 3.0.6</b>
海 道 筋	柴田善之丞政方	美濃・伊勢	10 0154 5.8.4
	大井帯刀永昌	飛騨・越前・美濃・越前・ 加賀 白山麓	11 4052 4.5.6
	多羅尾久右衛門純門	[近江]・伊勢・美濃	5 5354 7.8.3
	松坂三郎左衛門	甲斐	8 4540 4.0.5
	小林藤之助	甲斐	7 9682 6.5.1
小笠原信助	遠江・三河	6 3958 9.8.3	
篠本彦次郎	甲斐	5 7829 0.5.4	

江戸後期幕府直轄領の地域的分布について(村上)

北 国 筋	岸本辰之丞	駿河・遠江・信濃	万石 8 0104 0.6.3
	江川太郎左衛門英竜	[武蔵・相模]・伊豆・駿河	8 4117 8.2.3
		甲斐	<b>71 9794 8.0.2</b>
	平岡文次郎	[陸奥]・越後	10 6148 8.9.4
	青山九八郎	越後	7 1288 6.6.6
	大原左近	信濃・[上野]	6 9574 7.7.8
奥 羽 筋	平岡熊太郎	越後・信濃	5 3747 7.8.4
	岡本忠次郎成	信濃	5 4298 1.2.5
			<b>35 5058 2.4.7</b>
	添田一郎次	出羽	6 9957 4.1.4
	野村彦右衛門	陸奥	8 6239 4.7.9
中 国 筋	島田帯刀政富	陸奥	8 3783 0.1.3
	篠田藤四郎	陸奥・[常陸]	5 7296 5.8.4
	大貫次右衛門光証	出羽	7 8099 4.2.6
			<b>37 5375 9.1.6</b>
西 国 筋	大草太郎左衛門政修	但馬・美作	7 4183 9.5.4
	和田主馬	丹後・但馬	6 7744 7.3.2
	岩田鍬三郎	石見・備後	7 8695 6.1.8
	高山又蔵	備中・[美濃]・讃岐	6 3703 3.3.8
		<b>28 4327 6.4.2</b>	
計	寺西藏太元栄	豊前・豊後・日向	11 7534 0.0.4
	高木作右衛門忠篤	肥前・肥後・筑前	3 6677 2.0.8
		<b>15 4211 2.1.2</b>	
			万石 <b>328 4478 2.5.6</b>

## (B) 遠国奉行

			万	石
(浦賀奉行)	太田運八郎 池田将監	相模	6517	3.8.3
(伏見奉行)	内藤豊後守	山城	5166	6.8.2
(佐渡奉行)	篠山十兵衛 鳥居八右衛門	佐渡	13 2512	6.6.6
			<b>14 4196</b>	<b>7.3.1</b>

## (C) 大名預所

(岸和田藩主)	岡部内膳正	和泉	1 1267	5.9.0
(高槻藩主)	永井飛驒守	摂津・河内	4 7142	5.8.5
(高取藩主)	植村出羽守	大和	4 8055	3.3.9
(大垣藩主)	戸田采女正	美濃	6 9353	8.4.9
(加賀藩主)	松平加賀守	能登	1 4081	1.3.7
(福井藩主)	松平越前守	越前	4 5133	2.7.1
(桑名藩主)	松平越中守	越後	5 1136	3.2.8
(高田藩主)	榑原式部大輔	越後	5 2978	7.3.4
(松代藩主)	真田信濃守	信濃	7445	1.2.0
(松本藩主)	松平丹波守	信濃	5 4111	7.2.1
(新発田藩主)	溝川主膳正	越後	1 4996	6.4.4
(交代寄合)	知久主殿	美濃	8187	4.1.4
(会津藩主)	松平肥後守	陸奥〔下野・越後〕	8 8431	4.3.8
(米沢藩主)	上杉弾正大弼	出羽〔越後〕	5 5394	0.6.1
(庄内藩主)	酒井左衛門尉	出羽	2 7138	6.8.3
(津山藩主)	松平三河守	美作	1 6681	6.2.2
(松江藩主)	松平出羽守	隠岐	1 2562	8.3.7
(岡山藩主)	松平伊予守	備中	5092	8.7.1
(松山藩主)	松平隠岐守	伊予・讃岐	2 5076	8.2.3
(龍野藩主)	脇坂中務大輔	〔美濃〕・備中・播磨	5 1059	8.9.2
(大洲藩主)	加藤遠江守	摂津・伊予	1354	9.8.5
(柳川藩主)	立花左近将監	筑後	1 4851	7.3.0
(島原藩主)	松平主殿頭	豊後	1 4527	7.0.7

江戸後期幕府直轄領の地域的分布について(村上)

(唐津藩主)	小笠原佐渡守	肥前	1 6925 2.6.3
(人吉藩主)	相良遠江守	日向	590 1.8.8
(佐伯藩主)	毛利伊勢守	豊後	2143 7.2.4
(尾張藩家臣)	千村平右衛門	信濃	6287 8.2.8
(尾張藩家臣)	毛利源内	美濃	1356 9.3.2
			76 3366 3.1.6
総 石 高			万 石 <b>419 2041 3.0.3</b>

第3表 文久3年 江戸幕府直轄領の地域的分布

## (A) 郡代・代官支配地

	郡代・代官	支配地	支配高
関 東 筋	木村董平	武蔵・相模	万 石 13 2886 2.1.1
	松村忠四郎長為	武蔵・下総	10 1877 2.3.4
	佐々井半十郎	武蔵・下総	10 7341 7.1.9
	福田所左衛門知	武蔵・下総・上野・常陸・下野	10 3333 9.4.7
	今川要作忠恕	安房・上総・下総	7 9970 7.1.3
	北条平次郎氏郷	常陸・下総	8 4225 2.2.2
	小笠原甫三郎	上野・武蔵	7 4575 7.8.9
	林部善太左衛門 [立会当分御預所]	武蔵	12 3770 4.1.7
	山内源七郎崇正	下野・常陸・下総	7 4211 0.8.2
			<b>88 2192 3.3.4</b>
畿 内 筋	小堀数馬正明	山城・摂津・河内・丹波	5 0386 6.3.0
	角倉伊織(父・角倉鍋次郎)	山城	248 2.9.1
	木村宗右衛門	大和・河内	1 4596 1.3.6
	角倉与一玄寧	大和	2 2582 1.0.1
	中村勘兵衛一鶴	大和	7 1736 6.8.4
	羽田十左衛門正見	摂津・河内・播磨	8 6129 0.5.3
	石原清一郎正美	大和・近江・和泉・河内	9 6117 0.5.7

	内海多次郎利貞 多羅尾主税光弼	摂津・和泉・河内 伊勢・近江・河内・山城	7 7277 0.7.7 10 2381 2.7.8 <b>52 1454 3.0.7</b>
海 道 筋	岩田鋏三郎 桜井久之助知寿 伊奈半左衛門 安藤伝蔵 増田安兵衛景端 江川太郎左衛門英武 高柳小三郎元暉	美濃・伊勢 遠江・三河 駿河・遠江 甲斐 甲斐 〔武蔵〕・伊豆・〔相模〕・駿河 飛騨・越前・越前・加賀 白 山麓	12 5914 8.2.2 5 5549 6.8.3 6 1654 3.1.8 17 8480 6.0.2 8 0125 8.6.5 7 8473 6.7.8 11 1717 2.3.7 <b>69 1916 2.0.5</b>
北 国 筋	甘利八右衛門為徳 大草太郎左衛門 里見源左衛門定昭 石神寛次郎 (父・石神彦五郎)	信濃 越後 越後 越後	5 3496 6.9.1 6 0894 9.4.8 6 1542 0.8.0 6 4572 7.8.5 <b>24 0506 5.0.4</b>
奥 羽 筋	森孫三郎政澄 川上猪太郎克輝 三宅鑿作	陸奥〔常陸・下野〕 陸奥 出羽〔信濃〕	15 0208 0.7.4 8 2908 7.7.6 14 4923 7.0.9 <b>37 8040 5.5.9</b>
中 国 筋	斎藤六蔵 大竹左馬太郎勝昌 横田新之丞盛恭 鍋田三郎衛門成憲	丹後・但馬 備中・讃岐・美作 但馬・播磨・美作 石見・備後・備中	6 9360 3.6.9 6 9069 1.5.2 8 2746 8.4.1 6 5636 8.7.5 <b>28 6813 2.3.7</b>
西 国 筋	窪田治郎右衛門鎮勝 高木作右衛門忠知	豊後・肥前・豊前・肥後・ 日向・筑前 肥前	16 4237 0.3.4 8763 9.6.5

17 3000 9.9.9

計

万石  
317 3924 1.4.5

## (B) 遠国奉行

(武蔵国奉行) 白石下総守 早川庄次郎	武蔵	6187 7.8.3
(相模国奉行) 土方出雲守	相模	3456 1.4.3
(伏見奉行) 林肥後守	山城	5174 9.6.7
(佐渡奉行) 中村石見守	佐渡	13 2572 3.7.7
(越後国奉行) 榑原主計頭	越後	2015 2.6.2
		<b>14 9406 5.3.2</b>
(箱館奉行) 小出左衛門尉 新藤鋁藏		(737町8反9畝7步3厘)

## (C) 大名預所

(加賀藩主) 加賀中納言	能登	万石 1 4368 9.3.7
(会津藩主) 松平肥後守	陸奥〔下野・越後〕	7 4845 0.7.3
(津山藩主) 松平三河守	美作	1 6681 6.2.2
(米沢藩主) 上杉弾正大弼	出羽〔越後〕	5 0777 0.8.7
(福井藩主) 松平越前守	越前	4 5337 4.2.3
(岡山藩主) 松平備前守	備中	6314 2.7.1
(松江藩主) 松平出羽守	隠岐	1 2562 9.0.7
(松山藩主) 松平隠岐守	伊予	1 9682 8.6.3
(柳川藩主) 立花飛驒守	筑後	9790 4.9.9
(桑名藩主) 松平越中守	越後	4 8815 5.7.8
(二本松藩主) 丹羽左京大夫	上総	1 1106 3.2.4
(高田藩主) 榑原式部大輔	越後	4 8976 6.7.6
(大垣藩主) 戸田采女正	美濃	6 9353 8.4.9
(新発田藩主) 溝口主膳正	越後	1 5390 8.8.8
(上山藩主) 松平伊豆守	出羽	1 4057 9.8.8
(松代藩主) 真田信濃守	信濃	7457 6.5.3

江戸後期幕府直轄領の地域的分布について(村上)

(松本藩主)	松平丹波守	信濃	7 0150 9.8.2
(庄内藩主)	酒井左衛門尉	出羽	2 7138 6.8.3
(佐倉藩主)	堀田相模守	武蔵・相模	3 3445 5.7.1
(島原藩主)	松平主殿頭	豊後	1 4582 2.7.2
(岸和田藩主)	岡部筑前守	和泉	1 1164 4.2.5
(龍野藩主)	脇坂淡路守	美作・播磨	4 6544 5.2.2
(高取藩主)	植村駿河守	大和	3 9813 5.5.2
(人吉藩主)	相良越前守	日向	590 1.8.8
(佐伯藩主)	毛利伊勢守	豊後	2143 7.2.4
(高槻藩主)	永井飛驒守	摂津・河内	3 2318 1.2.9
(大洲藩主)	加藤出羽守	摂津・伊予	1354 9.8.5
(尾張藩家臣)	千村平右衛門	信濃	6287 8.2.8
(尾張藩家臣)	毛利掃部介守	美濃	1356 9.3.2
			<b>75 2411 4.3.1</b>
<p style="text-align: center;">総 石 高</p>			<p style="text-align: center;">万 石 <b>407 5742 1.0.8</b></p>

第4表 宝暦7年 江戸幕府直轄領の地域的分布

	代官支配地		大名預所 遠国奉行	直轄領額	
	支配地	当分預り所			
関東筋	万石 106 3500	万石 8 5900	万石 1 2700 (700)	万石 116 2800	{武蔵, 相模, 安房, 上総 下総, 上野, 下野, 常陸}
畿内筋	39 6400	1 7900	25 5800 (5000)	73 9800	{山城, 大和, 河内, 和泉 摂津, 近江, 丹波, 播磨 伊勢, 美濃, 飛驒, 三河 遠江, 駿河, 伊豆, 甲斐 〔近江〕〔相模〕}
海道筋	65 1900	6 3400	3 0400	74 5700	{信濃, 越前, 越後, 能登 佐渡}
北国筋	70 4500	2 9900	12 3700	85 8100	
奥羽筋	38 0000		10 3500	48 3500	陸奥, 出羽〔越後〕
中国筋	31 8700	4 6300	2 3300	32 3600	{丹後, 但馬, 美作, 石見 隠岐, 備中, 備後, 讃岐 伊予〔播磨〕}
西国筋	13 7600		2 8400 (3400)	16 9400	日向, 豊前, 豊後, 筑前
計	万石 <b>365 2600</b>	万石 <b>24 3400</b>	<b>58 6900</b>	万石 <b>448 2900</b>	

(註) ( ) は遠国奉行付 『宝暦七年 御料高御代官并御預所高書付』による。

第5表 天保9年 江戸幕府直轄領の地域的分布

	代官支配地		大名預所 遠国奉行	直轄領総額	
	万石	石			
関東筋	93	2014	万石 (6517)	93 8531	{武藏, 相模, 安房, 上総 下総, 上野, 下野, 常陸}
畿内筋	46	3696	10 6466 (5167)	57 5329	{山城, 大和, 河内, 和泉 摂津, 近江, 丹波, 播磨 伊勢, 美濃, 飛騨, 三河 遠江, 駿河, 伊豆, 甲斐 [近江] [相模] [武藏]
海道筋	71	9795	7 0711	79 0506	{信濃, 越前, 越後, 能登 佐渡 [陸奥] [上野]}
北国筋	35	5058	25 4358 (13 2513)	74 1929	
奥羽筋	37	5376	17 0964	54 6340	陸奥, 出羽 [常陸]
中国筋	28	4328	11 1829	39 6157	{丹後, 但馬, 美作, 石見 隠岐, 備中, 備後, 讃岐 伊予 [美濃]}
西国筋	15	4211	4 9039	20 3250	{日向, 豊前, 豊後, 肥前 肥後, 筑前}
計	<b>328</b>	<b>4478</b>	<b>90 7564</b>	<b>419 2042</b>	

(註) ( ) は遠国奉行 『天保九戌年 御代官并御預所御物成納払御勘定帳』による。

第6表 文久3年 江戸幕府直轄領の地域的分布

	代官支配地		大名預所 遠国奉行	直轄領総額	
	万石	石			
関東筋	88	2192	万石 (9644)	93 6388	{武藏, 相模, 安房, 上総 下総, 上野, 下野, 常陸}
畿内筋	52	1454	8 3296 (5175)	60 9925	{山城, 大和, 河内, 和泉 摂津, 近江, 丹波, 播磨 伊勢, 美濃, 飛騨, 三河 遠江, 駿河, 伊豆, 甲斐 [武藏] [相模]}
海道筋	69	1916	7 0711	76 2627	{信濃, 越前, 越後, 能登 佐渡}
北国筋	24	0507	25 6786 (13 4588)	63 1881	
奥羽筋	37	8041	16 6819	54 4860	{陸奥, 出羽 [常陸, 下野, 信濃]}
中国筋	28	6813	10 3141	38 9954	{丹後, 但馬, 美作, 石見 隠岐, 備中, 備後, 讃岐 伊予}
西国筋	17	3001	2 7107	20 0108	{日向, 豊前, 豊後, 肥前 肥後, 筑前}
計	<b>317</b>	<b>3924</b>	<b>90 1819</b>	<b>407 5743</b>	

(註) ( ) は遠国奉行 『文久三亥年 御代官并御預所御物成払御勘定帳』による。